

みずほCustomer Desk Report 2019/07/29号(As of 2019/07/26)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	108.74
TKY 9:00AM	108.68	1.1145	121.12	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	108.83	1.1151	121.19	1.2453	0.6951
SYD-NY Low	108.56	1.1112	120.79	1.2459	0.6955
NY 5:00 PM	108.68	1.1129	120.92	1.2377	0.6903
				1.2384	0.6911
NY DOW	27,192.45	51.47	日本2年債	-0.2200	▲1.00bp
NASDAQ	8,330.21	91.67	日本10年債	-0.1500	0.00bp
S&P	3,025.86	22.19	米国2年債	1.8569	▲1.01bp
日経平均	21,658.15	▲ 98.40	米国5年債	1.8527	▲0.83bp
TOPIX	1,571.52	▲ 6.33	米国10年債	2.0730	▲0.90bp
シカゴ日経先物	21,655	30	独10年債	-0.3785	▲1.45bp
ロンドンFT	7,549.06	60.01	英10年債	0.6855	▲2.35bp
DAX	12,419.90	57.80	豪10年債	1.2295	▲1.90bp
ハンセン指数	28,397.74	▲ 196.56	USDJPY 1M Vol	5.30	▲0.25%
上海総合	2,944.54	7.18	USDJPY 3M Vol	5.72	▲0.22%
NY金	1,419.30	4.60	USDJPY 6M Vol	6.10	▲0.08%
WTI	56.20	0.18	USDJPY 1M 25RR	-1.00	Yen Call Over
CRB指数	177.16	▲ 0.73	EURJPY 3M Vol	6.13	▲0.23%
ドルインデックス	98.01	0.19	EURJPY 6M Vol	6.56	▲0.21%

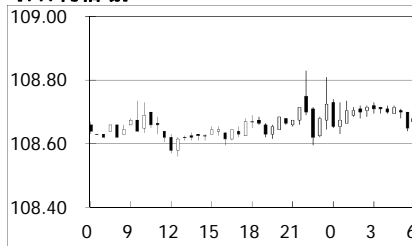
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月26日	21:30	米 GDP(年率/前期比)	2Q 2.1%	1.8%
	21:30	米 個人消費	2Q 4.3%	4.0%
	21:30	米 7PCE	2Q 1.8%	2.0%

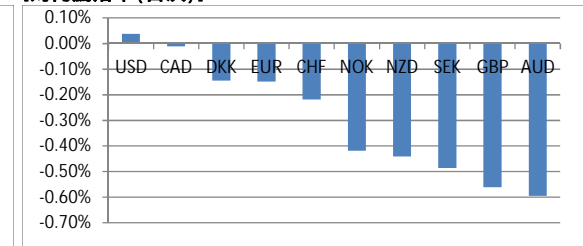
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月29日	8:50	日 小売売上高(前月比/前年比)	6月 -0.3%/0.2%	0.3%/1.2%
	23:30	米 ダラス連銀製造業活動指数	7月 -5.0	-12.1

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	108.00-109.00	1.1100-1.1200	120.40-121.60

【マーケットインプレッション】

金曜日のドル円は狭いレンジ内で推移。ニューヨークの午前は、発表された第2四半期のGDPが2.1%と市場予想を上回ったことを受けて、ドル円は一時108.80を越えて上昇。一方で来週のFOMCにおいて、利下げの見通しが引き続き根強い中、その後の米金利は低下基調となり、ドル円は反落。その後、クドロー国家経済会議委員長から「米国は為替市場に介入することはない」との発言を受けてドルは再び上昇し、結果ドル円は108.70前後を挟んだレンジで推移。本日のドル円も月末のFOMCを控えて様子見ムードからレンジ内で推移すると思われる。

東京	東京時間のドル円は108.68レベルでオープン直後、一時108.73を付ける。仲値公表にかけて高値圏での推移が続いたものの、前日海外時間の高値は更新できず、日経平均株価がじりじりと下落する中で108.56まで反落。その後は下げ渋り、方向感ない推移が続けると、108.65レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、108.65レベルでオープン。午後に米第2四半期GDP速報値の発表を控え様子見ムード。108.60-69の狭いレンジで推移し108.68レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2434レベルでオープン。英議会議も休会で固有の材料が特になく1.2421-46のみみ合いに終始。1.2433レベルでNYに渡った。(ロンドン・フリー 00531 444 179 神田)
ニューヨーク	前日大きなイベントであるECB理事会を終え、海外市場のドル円は108.56-73での狭いレンジでの推移が続き、108.68レベルでNYオープン。朝方は、米GDP(速報値)が予想を上回り、一旦108.83まで上昇するものの、このレベルでは売り意欲は強く、108.60まで反落する。その後外ロ-国家経済会議(NEC)委員長が、「来週の米中通商協議で重要な取り決めには至らない」との見方を示す一方、「ハイトハウスはいかなる為替介入も認めない」とトランプ大統領が望んでいる弱いドル主張を否定したこと、瞬時ドル買いが強まり、108.81まで戻す。その後は再び売り反りに反落するが、来週のFOMCで25bpの利下げが市場では優勢であるものの、50bpを期待する向きもあり、25bpが発表されればドルのサポート材料になるとの見方から、ドル円は底堅い推移が続き、108.68レベルでクロスした。一方、海外市場のユーロドルは1.1130-51でのレンジでの推移が続き、1.1135レベルでNYオープン。朝方は米GDP結果を受けたドル買いに1.1126まで下落する。その後も前述の外ロ-NEC委員長の発言を受け1.1117まで下落する。その後は1.1136まで買い戻されるものの、その後はドル買いが再び強まったことから1.1112まで下落する。午後は、週末を控え狭いレンジでの推移が続き、1.1129レベルでクロスした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:百瀬・玉井